

第1回社会福祉施設職員等退職手当
共済制度の在り方に関する検討会
令和8年4月23日

資料5

検討の視点について

検討の視点

近年、制度を取り巻く環境が変化する中で、今後も安定的に制度を運営していくためには、制度の在り方について、中長期的な視点から幅広く検討していくことが求められる。

具体的には、以下のような視点から、今後の制度の在り方についてどのような対応が考えられるか。

▶制度の財政運営に関する視点

- 制度を安定的に維持するための財政運営の枠組みをどのように考えるか。
- 法人の経営の持続性に配慮した制度運営の在り方をどのように考えるか。
- 人材の定着を目指す制度として、長期勤続をどのように評価するか、また他の類似制度や退職手当の動向との比較、必要となる負担の水準も踏まえ、給付水準・体系をどのように考えるか。
- 制度を安定的に維持していくために、将来の変動に備える仕組みをどのように整えていくか。

▶制度の利用促進のための視点

- 制度の安定性を高める観点から、新規加入者をどのように確保していくか。